

議案第 2 号

高等学校に設置する高等支援学校の今後の設置形態方針について

以下の理由により、高等学校に設置する高等支援学校の今後の設置形態方針案を別紙のとおり提出する。

平成27年 7 月23日 提出

沖縄県教育委員会教育長 諸見里 明

理 由

「県立特別支援学校編成整備計画（平成24年度～平成33年度）」では「施策2：高等部における軽度知的障害生徒の教育の場の拡充」の実施計画として、高等学校内に特別支援学校の分教室や分校を設置していくこととしており、これまで着実に教育実績を挙げている。

これまでの分教室等の運営実績を踏まえると、より機動的な学校運営に資するとともに、インクルーシブ教育の充実を図るためには、高等学校に併設校として設置していく必要があるため、今後の設置形態方針について、教育委員会の議決を求めるものである。

これが、この議案を提出する理由である。

(別紙)

高等学校に設置する高等支援学校の今後の設置形態方針(案) 関連施策「施策2：高等部における軽度知的障害生徒の教育の場の拡充」

(概要)

県立特別支援学校編成整備計画(平成24年度～平成33年度)の施策2は、「高等部における軽度知的障害生徒の教育の場の拡充」としている。

その施策における具体的な計画は、高等学校に軽度知的障害生徒を対象とする特別支援学校高等部の分教室や分校を設置していくとするものである。

現在、沖縄高等特別支援学校の分教室を中部農林高等学校、南風原高等学校、陽明高等学校に各1教室、大平特別支援学校の分教室を久米島高等学校に1教室設置し、着実な教育実績を挙げているところである。

しかし、教育課程や学校行事など学校(分教室)経営の最終責任者が設置側の校長ではなく、母体校である沖縄高等特別支援学校等の校長であるため、機動的な学校運営への影響など様々な課題が顕在化している。

他方、インクルーシブ教育を充実させるとともに、地域に密着した職業教育を推進し、生徒の自己管理能力や就労意欲を育成して、卒業後の就職・社会的自立を促進していくためにも、設置高等学校と一体となった教育の更なる強化が求められる。

これらのことから、今後、新たに高等学校敷地内に設置していく軽度知的障害生徒の教育の場については、併設校での設置を推進していくこととする。

また、既設の分教室についても、順次、併設校への移行を進めていくこととする。

1 高等特別支援学校と分教室の経緯

県教育委員会においては、知的障害の程度が比較的軽く、一般企業等への就職も可能な生徒に対して、就労に重点を置いたカリキュラムで教育していくため、平成3年度に軽度知的障害生徒を対象とした沖縄高等養護学校(現沖縄高等特別支援学校)を整備した。

その後、志願者数の増加に伴い、共生化の拡大、理解啓発の推進、地域化の推進、センター的機能の充実、中学校(知的障害特別支援学級)卒業生のニーズへの対応の5点を研究のねらいに掲げ調査研究モデル事業として、平成22年度に沖縄高等特別支援学校の分教室を中部農林高等学校と南風原高等学校に、大平特別支援学校の分教室を久米島高等学校に設置し、調査・研究を進めてきた。

平成24年10月5日に設置された、「沖縄県立学校における特別支援学級、分校、分教室等に係る検討委員会」では、3年間の事業成果や課題について検証し、事業目的が達成されたとして、各分教室については正式設置されている。

第5期県立特別支援学校編成整備計画(平成24年度～平成33年度)においては、特別支援教育の多様化を図る観点から、これまでの高等特別支援学校等やその分教室の成果や課題を踏まえ、生徒・保護者のニーズや本県財政状況等を考慮し、軽度知的障害者を対象とした高等特別支援学校等の整備を検討していくこととしており、平成26年度に、陽明高等学校に沖縄高等特別支援学校の分教室を設置した。

2 設置形態を併設型としていく必要性

(1) 設置高等学校と一体的な管理によるインクルーシブ教育の推進

誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える「共生社会」の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築への取り組みが全国において推進されている。

このインクルーシブ教育システム構築においては、障害のある生徒とない生徒が共に学ぶことの意義を知ってもらうことが重要であり、そのような共に学び合い、認め合うことができる環境を作ることが必要であるとされている。

また、インクルーシブ教育を行う場となる高等学校には、生徒の就職先確保のために地域企業等との連携強化や特別支援教育に関する相談・支援を担う地域のセンター的機能の充実等が求められる。

このような役割を強化し、生徒への教育及び就職・社会的自立を促進していくためにも、設置高等学校との一体的な管理運営が可能となる併設型による設置が望ましい。

(2) 設置高等学校との一体的な管理による円滑な学校運営

平成22年度に設置された中部農林高等学校分教室、南風原高等学校分教室、久米島高等学校分教室は、それぞれ高等学校の特性を活かした学習展開を図り、卒業後の就職や進学に実績を挙げている。

また、平成26年度に設置された陽明高等学校分教室も、総合学科である同校の特色とその施設・設備を活かした教育が実施されている。

しかし、このように学習や就職・進路等に着実な成果を出している分教室であるが、下記に記する学校運営上等の課題が顕在化してきている。

ア 学校行事や教育課程など学校（分教室）経営の最終責任者が設置側の校長ではなく、母体校の校長となることから、機動的な学校運営に支障がある。

また、母体校の校長は生徒の安全管理の責任者であるが、分教室の生徒と関わる機会が極めて少ない。

母体校校長としての分教室教員への指導管理も遠隔的な管理にならざるを得ない。

イ 設置高等学校の事務長は実質的に分教室に必要な事務を担うが、かい出納員は母体校の事務長であり、補助的管理の位置付けである。

予算は設置高等学校に令達され、分教室側で執行するが、国庫補助金検査等には、母体校も責任立ち会いを行うこととなる。

ウ 校舎の保有面積や整備資格面積等は、母体校の面積に算入される。

分教室が設置高等学校の空教室を利用している場合においても、その面積は母体校の保有面積として算入され、母体校の今後の整備資格面積が減少することとなる。

エ 服務管理が母体校の遠隔管理となっている。

上記のアに記したように、最終責任者が母体校の校長となるため、2日以上の出張命令や休暇取得などの決裁者は母体校校長となり、手続処理を迅速に行えない状況にある。

オ 現行の分教室は、教諭のみの配置となっており、人的パワーが少ない。

現在の南風原高等学校などの各分教室には、教諭のみの配置となっている。

そのため、分教室に係る事務は、設置高等学校の事務職員が担っている。

また、養護教諭も設置高等学校の養護教諭が所管しており、負担増になっている。

これに対し、併設校型により設置した場合は、以下の事が期待できる。

○学校経営の最終責任者が設置高等学校の校長となり、一体的管理が可能となる。

○設置高等学校の事務長が事務の直接管理者となる。

○校舎等の整備資格面積は、併設校の単独で算定される。

○服務管理（年休取得や出張命令等）は、設置高等学校の校長が一体管理する。

○事務職員や養護教諭及び実習助手についても、生徒数・学科数等に応じて査定されることになる。

3 今後の設置形態方針

前記2に記した理由により、軽度知的障害生徒を対象とする教育の場については、下記を設置形態方針としていく。

- (1) 今後、高等学校敷地内に設置していく軽度知的障害生徒の教育の場については、併設校の形態での設置とする。
- (2) 現在、設置している沖縄高等特別支援学校中部農林高等学校分教室、南風原高等学校分教室、陽明高等学校分教室は、今後、併設校への移行を進めていく。

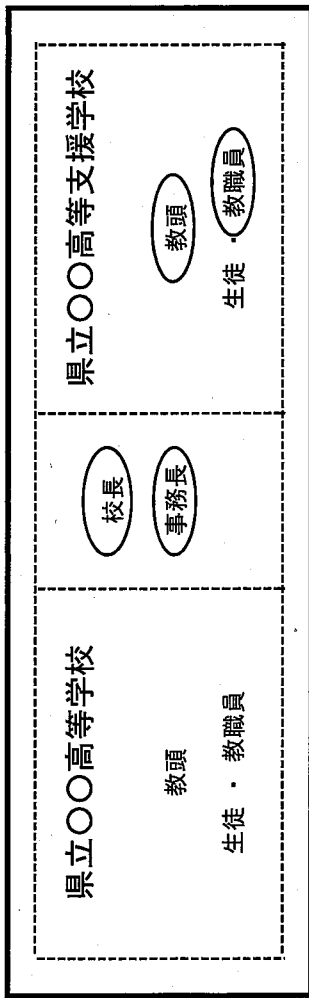
なお、大平特別支援学校久米島高等学校分教室については、小規模であることから、現行の設置形態を当面継続していくこととする。

全国高等学校・高等支援学校併設校 設置一覧

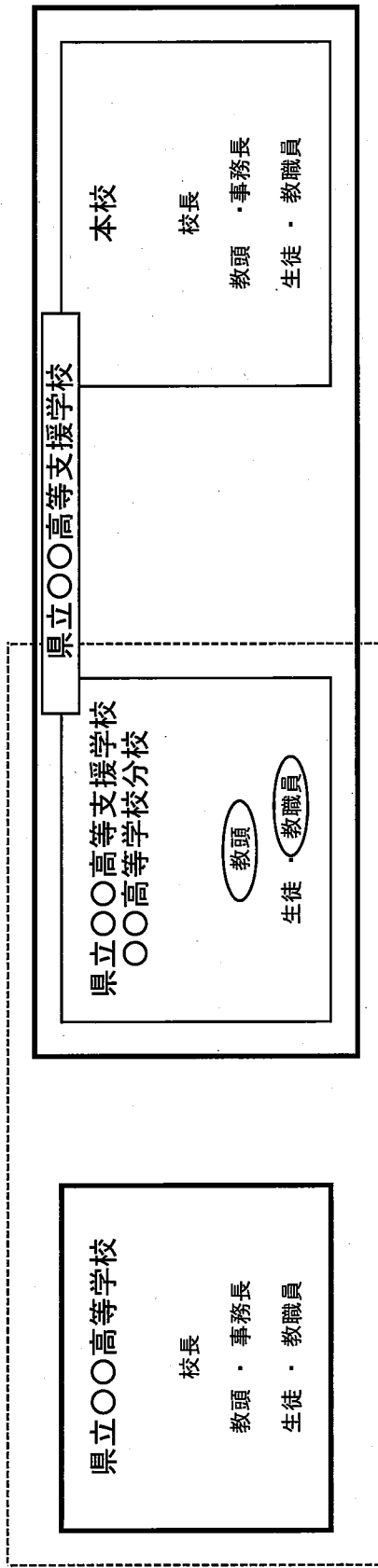
No	都道府県	設置者 設置場所	併設年度	学校名	募集 定員	課程学科	学校の特色等 ①設置形態 ②学校の特色
1		滋賀県 長浜市	H18	県立長浜高等学校	160	全日制 普通科	①既設の高校に併設 ②全国初の併設校 ・学校行事、部活動等は共同 ・校章、校歌、校訓、制服の統一
				県立長浜高等養護学校	16	全日制 普通科	
2	滋賀県	滋賀県 甲賀市	H19	県立甲南高等学校	120	全日制 総合学 科	①既設の高校を改編して併設 ②学校演習林での合同山林実習 ・学校行事、部活動等は共同 ・校章、校歌、校訓、制服の統一
				県立甲南高等養護学校	24	全日制 普通科	
3		滋賀県 愛知郡 愛荘町	H25	えち 県立愛知高等学校	120	全日制 普通科	①既設の高校に併設 ・学校行事、部活動等は共同 ・校章、校歌、校訓、制服の統一
				えち 県立愛知高等養護学校	16	全日制 普通科	
4	兵庫県	兵庫県 伊丹市	H24	こや 県立阪神昆陽高等学校	280	多部制 単位制 普通科	①既設の高校を改編して併設 ②全員が芸術、情報、保健体育等 の交流・共同学習 ・学校行事、部活動等は共同 ・校章、校歌、校訓、制服の統一
				こや 県立阪神昆陽特別支援学校	48	全日制 職業科	

高等学校に設置する高等支援学校の設置形態イメージ

1 併設校



2 分校



3 分教室

